



市民の皆さまの
思いをちからに 夢をかたちに
希望ある 輝くまち 高山

第10代 高山市長

くに しま みち ひろ
國 島 芳 明

就任のごあいさつ

このたび三期目の市政をお預かりすることとなりました。皆さまの期待にお応えするため、強い信念を持って、市民の生命・財産・生活を守る「市民のための市長」として職務に専念してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まちづくりの方針

市の財政や行政運営、国や県の動き、社会情勢の変化などを総合的に分析しながら、市民の皆さんと一緒に新しい時代にあった「希望ある輝くまち高山」の実現を目指し、次の3つのまちづくりを進めます。

- ◆ **住みやすいまち**
- ◆ **活力あるまち**
- ◆ **自立したまち**

住みやすいまちの実現に向けて

住みやすいまちをつくるためには、性別や年齢、障がいの有無などを超えて、一人ひとりが「いのち」の重みを大事にしながら、お互いを尊重し合い、支え合い、誰もが生涯にわたって安全・安心に、豊かさを実感しながら、生き生きと暮らせる社会をつくることが重要となります。そのため、住みやすい高山市をつくるために、子育て・教育・福祉・医療・文化度・生活環境・防災・自然環境などの満足度を上昇させる取り組みを市民目線に立ちながら、積極的に進めます。

「子育て充実都市高山の実現」

○市民および地域と行政が一体となつて推進する協働のまちづくりにより、地域共助を強

化し、地域全体で子どもや子育て世帯、障がい児(者)などを支えられる地域環境の整備を進めます。

○義務教育における給食費の軽減やクラブ活動遠征費などの学校生活に関わる費用への支援を行います。

○子育て世代の医療費軽減を進めます。

○気象条件に左右されない子どものための屋内型の遊び場を新規に確保します。

○大学・医療機関と協調した子育て講座の開催や高度な幼児教育の推進、育児休暇後のスムーズな職場復帰に向けた講座開設など、多彩な子育て支援策の強化に努めます。

「多彩で高度な教育環境」

○児童・生徒の一人ひとりの個性・能力・創造性を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇りや愛着の醸成)などを充実します。

○小中学校・高等学校が大学と連携できる機会(小中学生や高校生と大学生が一緒に活動する機会など)を強化し、教育の高度化を図ります。

○安全・安心な教育環境整備に向けて、小中学校の教室などへのエアコン設置を段階的に進めます。

○AIやIoT、ICTなどを活用した学習環境の整備に努めます。

○日常生活における「潤いやいきがい」の創出につながる生涯学習(世代ごとの多彩な学習機会)や女性のワーク・ライフ・バランスを考慮した学習機会・研修参加機会の充実に努めます。

「医療・福祉政策の強化」

○いつまでも元気で安心と希望のある人生が送られるように、健康寿命を延ばす取り組みを進めます。

○地域医療の高度化・充実を目指す。また、救急医療体制の充実強化を図り、誰もが安心して医療を受けられる環境をつくります。

○誰にもやさしいまちづくりへの取り組みを強化し(条例の改正、ハード・ソフト事業の強化)、様々な障がい(認知症、発達障がい、LGBTなども含む)で支援や配慮を必要とする方々が暮らしやすいまち

を目指します。

○市民・地域と行政が一体となつて推進する協働のまちづくりにより、地域共助を強化し、地域全体で生涯現役世代(高齢者)、介護世帯などを支えられる地域環境の整備を進めます。

○社会福祉の充実を目指し、潜在的保育士・看護師登録制度の活用を進めます。

○地域の医療・福祉・介護のネットワーク化で在宅福祉を支えます。

○心身ともに健やかに暮らせるようにスポーツ活動への参加機会を充実します。また、高地トレーニングエリアを活用し、市民のスポーツ競技力の向上を目指します。

○障がい児(者)の方、そして、子どもから生涯現役世代までの全ての市民の皆さんに、社会活動やまちづくりに参加できる機会を提供し、刺激といきがいに満ちた暮らしの中で、人間力が向上する取り組みを進めます。

「潤いを生みだす文化の振興」

○様々な世代の市民が交流できる場・機会の創出に努めます。

○高山市文化芸術振興指針に基